

小学校だより

2018年
1学期号
2018.07.17

Vol.
139

梶山女学園大学を 探検したよ!

校長 森 和久

二分の一人成人式を控える三、四年生は、おおよそ十年後、本当の成人式を迎えるころ何をしているでしょうか。多分多くのお子さんが「大学に行っている」と考えると思います。では、大学で何を学んでいるのでしょうか。何に力を入れているのでしょうか。自分の将来を具体的にイメージできることは、今の学ぶ意欲につながります。大学とはどんなところか知って、具体的にイメージできるようにするために、「百聞は一見にしかず」四月二十七日(金)遠足



▲研究室参観の様子



▲よさこい体験の様子

で、梶山女学園大学を探検しました。まず、講義室に入った三、四年生は、そこで十人ずつのグループに分かれ、大学生に案内されて大学内を巡りました。教育学部の授業、ゼミ、研究室等の参観では、授業に参加させていただいたり、大学の先生に質問に答えていただいたりしました。また、歴史文化館、図書館、学生会館、展望台など大学のいろいろな施設も見学しました。梶小でも行っている毎日英会話の授業にも参加させていただきました。

講義室に戻ってからは、二つのブチ・セミナーを行いました。元梶小の校長で、教育学部長の宇土泰

特集

梶山女学園アフタースクール

委員会報告

P.4

学期の行事

P.5

学年トピックス

P.6
P.17

PTA

P.18
P.19

P.2
P.3



▲大学生による校内案内の様子



▲研究室参観の様子



▲ブチ・セミナーの様子

寛先生からは梶ニコちゃんの由来やブルキナファソとの交流の歴史を教えてくださいました。キャリアアコンサルタントで梶大の就職相談員の稲葉直子先生からは、自分の「好き」をどのように将来の職業に結び付けていくかという話をいただきました。

中庭でお弁当を食べた後、大学の「よさこい鳴子踊りチーム」のみなさんの踊りを見せてもらいました。運動会で「よっちょれ」を踊る三、四年生にはとても参考になったと思います。最後には、希望者がお姉さんたちと一緒に踊りました。

大学の「附属小学校である強みを生かした初の試みでしたが、普通なかなか見ることのできない大学の中を探検でき、とても充実した半日を過ごすことができました。そして、子どもたちの将来への意欲につながったのではないかと思います。

ご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました。

一学期の思い出

P.20